

| | | | | | | | |
|------|-------------------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | 精神保健福祉相談援助の基盤（専門） | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 吉田 みゆき | | | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 開講期間 | 後期 | 配当年次 | 1 | 授業番号 | 2507 |

●授業のテーマ

精神保健福祉相談援助の基盤について理解する

●到達目標

精神保健福祉士が行う相談援助の概要について具体的に理解できるようになる。

●学習内容(授業概要)

本科目では、精神保健福祉士が行う相談援助の対象とその概要、専門職の概念と範囲について理解する。さらに相談援助における権利擁護の意義と範囲、包括的な援助と多職種連携の意義と内容についても学習する。

●学習内容(授業計画)

1. 保健、医療、福祉等の各分野における相談援助の対象、目的
2. 保健、医療、福祉等の各分野における相談援助の意義、内容、原則
3. 医療機関における専門職①（医師・薬剤師・看護師）
4. 医療機関における専門職②（作業療法士・臨床心理技術者・管理栄養士）
5. 福祉行政・関連行政機関等における専門職①（福祉事務所現業員・社会福祉主事等）
6. 福祉行政・関連行政機関等における専門職②（保健師・作業療法士等）
7. 福祉行政・関連行政機関等における専門職③（社会復帰調整官等）
8. 福祉行政・関連行政機関等における専門職④（障害者職業カウンセラー・職場適応援助者等）
9. 民間施設・組織における専門職①（施設長・生活指導員・地域包括支援センターの職員等）
10. 民間施設・組織における専門職②（相談支援専門員・サービス管理責任者等）
11. 相談援助における権利擁護の概念
12. 相談援助における権利擁護の範囲
13. 総合的かつ包括的な援助の意義と内容
14. 多職種連携（チームアプローチ）の意義と内容
15. 到達度テストと振り返り

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業テーマについて下調べをする。

毎回の授業の感想を提出する。

●成績評価方法・基準

到達度テスト 70%，提出課題 20%，受講態度 10%

●テキスト（必携）

≪No.1≫書籍名：新・精神保健福祉士養成講座3 『精神保健福祉相談援助の基盤（基礎・専門）』第2版、著者名：編集 日本精神保健福祉士養成校協会、出版社：中央法規出版、販売先：株式会社 Do

●参考文献／その他
随時紹介する.

●履修上の注意
精神保健福祉士国家試験受験資格課程履修者は必修である.